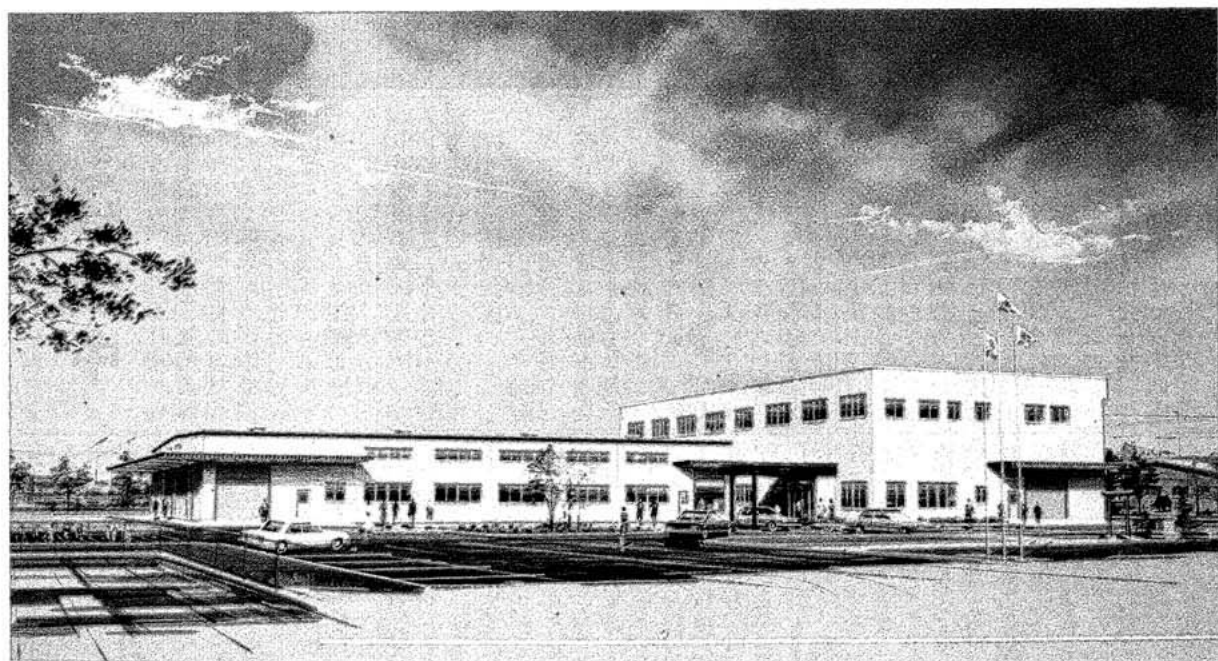


三笠産業春日部工場



完成予想図

新工場の建設工事 急ピッチで進行中

三笠ニュース

発行所
東京都千代田区猿樂町1-4-3
三笠産業株式会社
電話 東京 (292) 1411 大代表
テレックス 222-4607
郵便番号 101
PR旬報 年4回発行

三月十四日

上棟式厳かに行なわる

三月十四日(木)東北・上越新幹線が待望の上野駅開業を果たし、東京とみちのこの新湯がぐつと近くなったこの日、春日部市豊野工業団地に建設中の三笠産業春日部工場の新工場の上棟式が来賓及び関係者が参列し執り行なわれた。昨年十一月二十四日地鎮祭以来百十一日目。工事は順調に進行し、この日を迎えた。朝からの雨が雪となり、寒さが厳しさを増した。幸い式の始まる頃には再び雨に変わったがぬかるみで足もとの悪い工事現場に砂利を撒き、整地して待つうちに、お招きした方々がおそろいになったところで午後三時より八幡神社の押田神官により儀式が厳かに行なわれ、参列者一同玉串を奉奠し無事竣工を神前に祈念。終わって京谷社長ならびに施工者阪和興業石原部長が挨拶。笠睦会佐藤会長の音頭で乾杯。上棟式は滞りなく終了した。



(挨拶する京谷社長)
無事竣工を神前に祈念。終わって京谷社長ならびに施工者阪和興業石原部長が挨拶。笠睦会佐藤会長の音頭で乾杯。上棟式は滞りなく終了した。

建設公害の低減に 電動ランマー

MT-M50型



軽くて跳びはねが大きく、優れた締固め性能で大好評のMT-M50型ランマーと同時に発表された姉妹機で、単相100Vの整流子モーターを動力源とする電動ランマーMT-M50型が静かなブームを呼んでいる。電源は電灯線からとれて手軽に使える。モーター駆動なので排ガスは勿論出ないの、電気汚さない。電氣的にも機械的にも衝撃に耐え得る頑丈な構造。そして、ランマーの心臓部とも言えるモーターは、強靱で耐久性を兼ね備えた三笠産業の特長をそなえた三笠ランマーの特長をそのまま受け継がれている。エンジン駆動のランマーにはないところの、これらの利点が認められ、電力、ガス、電設等の関係から注目され、既に電力関係の工事用にとりまて納入されている。これらは夜の作業が多いので、ほとんどどのものにオプションとして

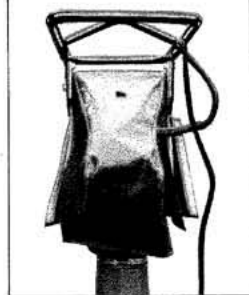
自振モーターの 性能を飛躍させる

注目のインバーター完成

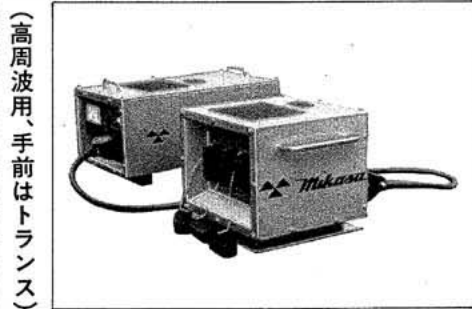
コンクリート製品工場で作られているテーパーバイブレーターは振動発生装置として自振モーターが使われている。高周波電源でまわすものもあるが、ほとんどは三相200Vからとる二極モーターで、振動数は50Hz地域で毎分2850、60Hz地域では3450である。製品の仕上り具合を良くするため、より高い振動数を求めるには高周波自振モーターが必要となってきた。自振モーターと電源との間に周波数を変換させる装置を継ぐと、高品位のコンクリート製品をつくるのが可能となる新製品インバーターがこの程出来上がった。インバーターと電源および自振モーターの接続は、プラグを押込むだけ。あとはスイッチを入れ、電流計で自振モーターに掛る負荷を見ながら、希望する周波数にダイヤルで調整すると、自振モーターの振動数と遠心力を変化

用意されている防音カバーが装着された。この防音カバーを取付けると、もととも音の静かな電動ランマーが実に静かに、10m離れたところで71ホンにまで下げることができこの防音カバーはいままでのもとは、ハンドルをはずさないといと装着できなかったが、マジックテープをとめるだけで簡単に脱着できる。素材の生地は改良された。素材の生地は従来の鉛入りの防音材が使われていたもので、遮音効果に優れているのは申すまでもないところ。電灯線から動力がとれ、空気を汚すことがないので室内でも運転できる。大工さん、水道工事屋さんなどの仕事にも役立つ電動ランマーである。

MT-M50型 電動ランマー仕様	
機体の寸法	高 905mm 幅 280mm 長 555mm
衝撃板の寸法	幅 220mm 長 336mm
衝撃板のストローク	40~45mm
衝撃数(毎分)	650~750回
打撃力(毎回)	500~560kg
使用モーター	単相交流 整流子モーター 入力100V 14.5A
回転数(毎分)	13,000~15,000
概重量	48kg



(簡単に付く防音カバー)



高周波用トランス付 分電盤寸法	
高	330mm
幅	335mm
長	300mm
重量	29.8kg

インバーター本体寸法	
高	305mm
幅	345mm
長	540mm
重量	24.3kg

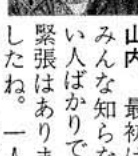
高周波用 インバーター仕様	
出力	6 KVA
定格電流	72A
入力側	三相200V 50Hz/60Hz
出力側	三相48V
周波数調整範囲	150Hz~ 240Hz

低周波用 インバーター仕様	
出力	6 KVA
定格電流	16A
入力側	三相200V 50Hz/60Hz
出力側	三相200V
周波数調整範囲	30Hz~ 80Hz

させることができる。周波数は30Hzから80Hzの範囲で調整ができる。従って自振モーターは毎分約1600から4500程の振動数に変化できる。これに依り微速で起動したり、製品の状況を見ながら自振モーターの出力を調整でき、製品の質が向上できると言うものである。インバーターの容量は6KVA、定格電流16A。キャブタイヤコールドを分岐して複数の自振モーターを同時にまわすことができる。このインバーターは二重完全密閉で衝撃防止構造となっている。この他の特長としては半導体を使い、回転する部分がないので、振動、騒音がなく、保守点検が容易である。尚、このインバーターにトランス付分電盤を接続すれば出力が6KVAの高周波用インバーターに早がわり、高周波バイブレーター(インヘッダー)や高周波自振モーターをまわすことができる。

特定自主検査の検査者の資格をとるため、三月四日(月)から八日(金)までの五日間に亘り、三十名の入達が三笠産業館林工場で研修を受けた。短い期間だったが同じ目的のための仲間意識のようなもので生じたように思える研修会であった。

なさんお疲れのところとはな



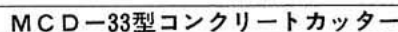
す。それは自分のところの機械が間もなく有効期間が満了すると言うことで、あわてためいて、とったというように、そんなことで、屈強なことを

稲毛 来る前は会社の社長から厳しくやると言う話を聞かされたので……。

長畑 それから松村さんもイ
ですよね。稲毛さんが口です
ね。口は珍らしいですね。岩
渕さん、鈴木さんもイですわ
そういう研修会を受けられた
方、今回の研修会と比較

までに……なかなか早目
 と言っても集まって来ない
 ですよね。

長畑 その件で、永井さん。
 永井 そうだね、あの——千
 エックの土方、ナイノ間壁の



長畑 ローラー以外の他の機種
の資格をお持ちの方にいま
発言して頂いたのですけれど
次にみなさんの会社でローラ
ーの特定自主検査を依頼され
るケースはどのくらいありま

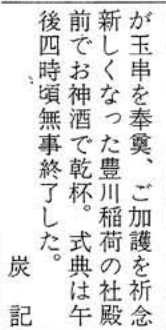
三笠産業の本社が八重洲から神田の猿樂町へ本社ビルを建て移転してから今年で22年目。その間、ビルの方は改修したが、屋上にある豊川稲荷の社殿はビル落成当時のまま都心の汚れた大気にさらされ、銅板葺きの屋根も傷み、修理はしたものの老朽化は防ぐべくもない。

初午を目前に控えた二月四日(月)大安吉日を選び社殿を新しく取替えた。これに先立ち、お稲荷さんのご神体を古い社殿からお移しする還座式の儀が、課長以上参列し、神田神社の大村神官に依り午後三時から執り行なわれた。

マスクのようなもので口の辺りを覆った神官がうやうやしくご神体を奉持、後に京谷社長が従い、ひとまず社長室にご神体をお移した。

屋上の方では用意された新しい社殿を古いものと取替える作業が素早く行なわれた。飾り付も終わり装いも整ったところで今度は還座式及び奉祝大祭となる。再び大村神官に奉持されたご神体は新しい社殿にお移りになった。心なしか、樺造り銅板葺きの社殿が一きわ立派に台座に取付け、る前より大きく見える。

うやうやしく祝詞が奏上され、京谷社長以下参列者全員



東京からの来訪者を迎える
札幌の天候は曇り。本社と同
じに初午祭の式を執り行なう
ため、研究所、工場、出張所
が、本社の初午祭当日に大雪
に見舞われ、お稲荷さんのお
社を急拠社長室に移して儀式
を執り行なったと聞いている。



に当日は毎年社長の名代でそれぞれ役員が出向いている。日頃お世話になつてゐるお取引先のみなさんをお招きしたが、初午祭の時刻が近づくと、お客さん達が次々にお見えになる。二年前の札幌出張所の落成式の時に来久しぶりにお目にかかる方もいらつしやる。

（その時は春日部工場の初午祭に参列していた）

札幌のお客さんは雪には馴れてゐるとみえて、平然として雪の降りしきるなか、稲荷社の前に整列。白石神社の神官が祝詞を奏上する声が雪の静寂を裂く。順次に玉串奉奠を行なう。かくして白一色に覆われた札幌出張所の初午祭

雪はますます激しく、遠来の客を熱烈歓迎はよいのだが、辺りは次第に薄暗くなつて来て、ストロボをたかなければ撮影できないような始末。昭和四十二年の頃のことだった。

の儀式は滞りなく終了。この日お見えになつた札幌のみならず、初午つてなんです。か、との間に答える形で、「伊勢屋、稲荷に犬の糞……お稲荷さんは商売繁盛の神様」

東海 関東、
甲信越の三笠
レンタル会が
昨春秋結成さ
れ、その後に
開かれた役員
会に於いてサ
ービスマンの
技術研修の話
が出た。なか
でも労働安全
衛生法に基づ
く特定自主検
査を行なうに
は、より一層
検査者の充実
が不可欠であ
る。

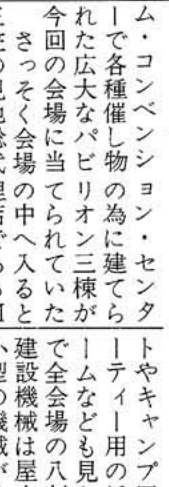
（ローラー点検の実技研修）

リカレンタル業協会)
会を視察して

昨年、スウェーデン、ノルウェーの展示会に続き、今年は高野海外営業部長と共に二月十一日より四日間アメリカのロスアンジェルスで開かれたA R A (アメリカレンタル業協会)の展示会へ視察に行く機会を得

昨年のスウェーデン、ノルウェーの展示会に続き、今年は高野海外営業部長と共に二月十一日より四日間アメリカのロスアンジェルスで開かれたAARA（アメリカレンタール業協会）の展示会へ視察に行き機会を得た。

このAARAの展示会はレンタル業者を対象とした特別価格による展示即売会で毎年一回全米



でも今年の新しい製品として初めて出品されたMRV-14型インパクトローラーは注目を集めており、社長初め三笠の担当セールのスマンが機械の説明に奔走している姿が印象的であった。

会場全体を見回すと建設機械や電動工具の他、パーベキューセット用品、果てはパ派手なコスチュームを着た人々もみえる。その中前以上を占める展示なので、

既に整地運搬掘削積込等他の機械の検査業所屬検査者の資格を持っている人達と、初めて資格取得に挑戦するグループをひとまとめにして研修会を行なわれた。

三月四日(月)から八日(金)まで三笠産業館林工場を会場としてエンターションの時間をはじめ、安全衛生規則関係法令が、定刻午後二時から始まる。講師は清水事務局長。判り易い説明、さすがに馴れたものである。

を聞くこととした。主として三笠レンタル会関係へ呼びかけた結果、定員いっぱいのは30名(17社)から申し込みがあり、三笠レンタル会以外からも遠く岩手や沖縄からも参加者があつた。

宿舎に戻つてからテキストから出題した模擬試験。終わつて復習予習と続くので教えられる方も大変だが、文字通り一つ釜の飯を食い、寝食をともにしての研修会である。現場の作業はお手のものだ

研修時間は他の機種の資格を持つている人が21時間。初めての人が35時間と異なるが

が馴れぬ学科に疲れの色も目えてきた。講義の合間に時間割を割いて「分福茶釜」で名烹い茂林寺を一同で訪ね、しばし研修の雰囲気から離れ、門前の土産物店で買物を楽しむスケジュール。その甲斐あつて学科試験は見事に全員合格続いたの实技は、日頃の腕の见せどころとばかりに、テキパキと全課目をこなし、チエツクリストの書き方も覚えたかくして滞りなく研修会を終了。閉講の挨拶には拍手と「アリガトウ」の声も聞かれ、初日と違つて、わずか五日の短かい期間だったが、同じ目的のため励まし合つた仲間意識のようなものがめばえてい

のを感じられた。 坂本 記

建荷協群馬県支部清水事務局長の「安衛則関係法令」の講義



のどこかの地
域で開催され
る。毎年年初めに開かれる事
又全米のレンタル業者を対象
としている事よりMQ社にと
つても我々にとつてもその年
のアメリカでの販売を占う意
味で最も重要な展示会である。
二月十一日(月)十三時、定刻
通りロスアンジェルス空港へ
到着。六年ぶりのロス空港は
昨年のおリンピックにより整
備された事もあり広く、又、
奇麗になったのに感心する。
快適なフリーウェイを走り会
場近くのホテ
ルにチェック
イン後、さつ
そくARRAの
展示会場へ向
かうが、真冬
の日本から来
た我々にとつ
て二十度を越
す気温は何よ
りの出迎えて
八時間のフラ
イトの疲れを
全く忘れさせ
てくれた。

会場は日本
人にも馴染み
の深いデイズ
ニールランドの
すぐ横に位置
するアナハイ



三笠の現地総代理店であるMQ社のブースが中央入口を入
ってすぐの一等地を陣取り、
各種取扱製品を展示してい
るのが見える。
同時に昨年の日本訪問で顔見
知りになったセールスマンの
姿や、これまた見なれた三笠
の製品が目飛び込んで来た。
機械の数の割に広いスペー
スを確保し、より多くの人
がゆつくりと機械を見られる
様にとの配慮がなされたMQ
社のブースは非常に明るい
雰囲気の中に溢れていた。中

小型の櫛柄かメインで同じ小型建設機械を扱う我々にとっては非常に興味深いものであった。前述の通り、この展示会は単に機械を見せるだけでなく、あくまで特別展示会価格による販売に主眼が置かれておりMQ社は勿論の事、どの出展者のブースもレンタル業者への売込みに懸命である。日本メーカーの進出も目立つと同時に為替の関係で有利になったヨーロッパメーカーの思い切った価格政策も気になる点でしたが、現在のMQ社はそれ程気にしている様子もなく、今はただ前進するのみという行動が何より心強い限りです。昨年に比べ増々競争は激しくなると思われませんが、今回の展示期間を通じて昨年も増して販売も好調と話を聞き、MQ社の積極的な販売姿勢に感心すると共に今年もMQ社の販売には大きな期待が出来るものと確信した。ARA展終了後、時間の合間を利用してレンタル会社を数社訪問しましたが、MQ社の行き届いたサービス態勢と各担当者の細かい販売姿勢に感謝しているとの言葉を各社から頂き更に意を強くし予定通り二月十五日、ロスアンジェルスを発った。

京谷弘也 記

